

出席者 釜井・諸江・根岸・安藤・常松・渡辺・和田・多田・  
村田・井上・渡部・宮山・豊田・松本・伊勢・中村  
後催地 永井(愛媛)・下野(鹿児島)

専門部長挨拶(釜井)

大会運営について

① 「第 43 回全国高等学校選抜フェンシング大会」について(愛媛・永井)

- ・愛媛県専門部長が病気で諸会議・式典に出られない。
- ・県協会長は開会式には出席予定、諸会議に出席可能かは調整する。
- ・要項「8 引率・監督について」はインターハイに準じて文言変更
- ・「15 申し合わせ事項」は「規約規定集と合わせて…」で文言削除
- ・3月24日(日)練習会場剣道場使用出来ず。23日午後4時頃から撤収、それ以外は変更無し

② 「平成 31 年度第 65 回全国高等学校選手権大会」について(鹿児島・下野)

- ・要項の元号表記は全て西暦に
- ・「7 引率・監督」は全国高体連の統一文言に変更
- ・学校対抗→団体、個人対抗→個人 ←これは学校対抗・個人対抗に戻す方向で  
(「8 参加資格」(7) 団体競技種目や団体戦…は全国高体連の文書なので変更出来ない)
- ・「10 参加申し込み」部活動指導員の証明書類を1部ずつと明記
- ・19 ページ 会場配置図 得点塔が全て本部から見えるようにした

③ 「第 44 回全国高等学校選抜フェンシング大会」について(宮城・渡部)

- ・競技場の広さは駒沢の体育館並、観客席 5,000 席と十分、駐車場も十分だが、練習場がバスケットボールコート程度しかなく今後検討する。また駅からのアクセスで苦勞をかけるかもしれない。
- ・要項は愛媛大会を参考にして作成
- ・サーブルのカフの使用は現状では高体連では可能(全日本では一体型のみ)。
- ・宿舎は全て仙台駅周辺、要望のあったシャトルバスは役員のみ。  
最寄り駅から歩くのはやや辛いかもしれない。早めに伝えて準備をして欲しい
- ・要項 諸会議の「全国委員会」は削除。時間は詰めないでそのまま(今後もその方向で)。
- ・「引率監督」部活指導員の部分は鹿児島総体の表記に合わせる
- ・タクシーは岩切駅の方があがる。バスは岩切・利府ともにあるが、岩切の方が良いかも。

④ 第 43 回全国高等学校選抜フェンシング大会プログラム編成について

- ・手順の確認、資格審査報告の後、抽選作業に入り滞りなく終了する。

報告事項

① 平成 30 年度行事報告(和田)

② 競技委員会報告(伊勢)

③ 強化普及委員会報告(渡辺)

④ 平成 30 年度(公財)全国高等学校体育連盟報告後期

- ・フェンシング競技日程は8月9日(日)~12日(水)で準備を進めている(前日開会式)

常任委員会、全国委員会等を会期前(8/7)に入れる等今後検討(全国高体連が費用負担)。

⑤ 平成 30 年度(公財)日本フェンシング協会報告後期

協議事項

① 平成 31 年度行事予定案について(和田)

② 平成 31 年度予算(案)(根岸)

③ 技委員会提案事項（伊勢）

- ・マスクバンドは宮城選抜から。チェストプロテクターは業者対応が遅れているので導入時期は様子を見て（来年度も流動的）
- ・学校対抗の左右の入れ替えについては、インターハイのみ実施している。選抜は個々の対戦で左右の入れ替えは行っていないが、ベンチの入れ替えは行う。
- ・インターハイでも選抜同様自陣から出ることによって統一した方がわかりやすいと思われる。  
→ 各ブロックの意見を聞いて欲しい
- ・トレーナーのベンチ入りは、高体連の試合では医者を必ず呼ぶので認めない（今年度福井国体では認めた）

④ 強化普及委員会（恒松）

詳細未定、次回はサーブル中心か

⑤ 総務委員会提案事項（安藤）

- ・インジュリータイムの短縮（10分→5分）とサーブルグローブの用具検査基準の変更は、夏の全国委員会では承認されたが規約規定集には反映されていないため「文言訂正」を3月の全国委員会で提案（松山選抜の要項等は訂正前のもの、全国委員会です承されたら松山選抜から「変更」として適用）

⑥ その他

1. 大分インターハイ（釜井）

- ・予算立ては大分の理事長が中心で動いている。高体連は還付金の単年度値上げを日本協会に提案したら、理事会で諮った結果事業費として50万円を出してもらえることになった。

2. インターハイ個人戦プール戦でのノンコンバティビリティの廃止（安藤）

全国委員会で認められていたのにインターハイで適用してしまった。次年度からは適用しないことの周知徹底を約束。

3. 高体連フェンシングウェブサイト更新（根岸）

- ・スマートホンに対応、大会の進行具合をリアルタイムで確認出来るようにする
- ・CMS (Contents Management System) 付なら、業者を通さずにウェブサイトの一部を我々で更新出来るようになる。
- ・Twitter、Facebook等SNS連動にするが情報は一方通行で（ネット環境が必要となる）
- ・大きな大会の場合は専属の担当者をつけなくてはならない  
→CMSとSNS対応への変更で

4. 高体連フェンシング Google アカウント取得（根岸）

記録や議事録をpdf化して保存、USBやメールでやり取り出来ない大きなデータの受け渡し等が出る

4. 愛知インターハイ反省（安藤） 別紙参照

5. その他

- ・選拔出場枠の見直しは愛媛大会後の6月の競技委員会で行う
- ・愛媛選抜で一部ビデオ判定を行う予定（審判長の甲斐氏から依頼あり）  
4台しか設置しないため準決勝と決勝のみ。インターハイでは行わない旨は伝えてある。競技委員会等での導入に向けての検討はしない。あくまでも試験導入。告知は「監督・選手のみなさんへ」に同封して参加校に送る。
- ・学校対抗戦のベンチの入れ替えについては、伊勢先生に実施のFIEの規定を調べてもらうことにする。

⑦ 役員改選について

- ・部長指名は地区常任委員の半数=5が上限、副部長は3が上限
- ・地区常任委員で協議した結果、釜井部長を推薦する。定年まで1年しかないが、了承していただいた。副部長3名留任、部長指名は追って連絡をする。監事も引き続き2人留任の方向で検討。